



幼稚園での遊びの中から学ぶ

令和3年度が始まり、一ヶ月が過ぎました。最初は戸惑っていたひよこ組のお友だちも園生活、先生がた、お友だちにもずいぶん慣れてきたようです。園の生活が始まれば、子ども達にとってはとても楽しいことばかりではないでしょうか。色々な道具や遊具(もの)、そして新しい人との出会いによって子ども達の世界は広がります。

幼稚園では、教育課程(計画)に則って年間、月、週、毎日の計画が立てられます。ねらいに向けて経験してほしい内容を考え、環境の構成や教師の援助を考えていきます。遊びの中から、子ども達は沢山のことを学んでいきます。

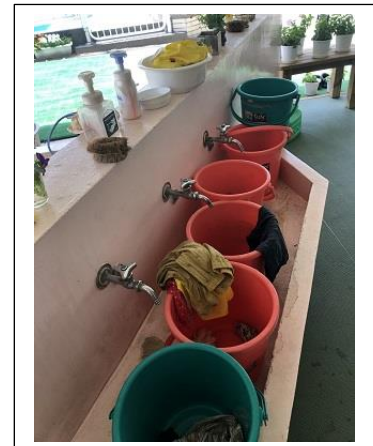
今日、園庭に置かれたたらいの中に、水をためるために水道からホースが引かれていました。勢いよくホースを通っていく水は、ホースを躍らせます。その様子を見て子ども達は喜んでいました。それぞれの子が、感じていることは違うでしょうが、ホースと水だけで子ども達は多くのことを感じ、多くのことを学びます。

小学校では図画工作の時間に、水彩絵の具の色を混ぜて新しい色を作っていきます。幼稚園で子ども達がこの時期にしている色水作りは、色作りの基礎となるものです。お花の満開を終えた花びら(しよんぼりさん)を摘んできて、花びらを水でもんで色を出します。色々な色を合わせると新しい色が出来ます。遊びの中から、自然に学んでいくこの色水作りは、私が幼稚園に来て「へ～。凄いな!」と感じたものでした。



砂場では、バケツ、じょうろ、スコップなどを使って、穴を掘ったり、山を作ったり…。そのうち、掘った穴に水をためて、海?を作っていました。裸足になって、砂や水の冷たさ感触(ざらざら、パシヤパシヤなど)を実感していました。「気持ちいい～」そんな言葉が子ども達の口から聞こえてきました。

遊んだ後はお着替えもします。気持ちも体もすっきりになりました。手洗い場には、バケツに入った汚れた洋服が並びました。簡易に洗ってありますので、ご家庭でもう一度お洗濯をお願いします。



子ども達は、たくさん遊んで、にこにこ笑顔で元気いっぱいです。

熊本蔓延防止宣言(新型コロナウイルス感染症)

熊本でも、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の予約が始まりました。一回目の予約は、1時間半くらいに埋まってしまい、電話予約に関してはほとんどつながらなかったとも聞いています。私の両親も孫に頼んでインターネットで予約を取ってもらっていました。

感染症は収まる気配もなく、昨年と同じような動きになっているのがとても心配です。多くの小中学校の運動会は、秋に延期されたり、子どもだけで行われることになったようです。幼稚園の行事もこれから検討しながら進めていきたいと思えます。6月の保育参観も様子を見ながら実施するかどうかの判断をしたいと思えます。ご理解ご協力をお願いいたします。

